

おち町

No 109

議会だより OCHI TOWN

2014 (H26) 8/1
高知県越知町議会



水の中はきもちいい (保育園)

6月定例会

平成26年度一般会計補正予算3億6600万円

2P 道路整備・商店街街路灯LED化など

5P 町営住宅・町民体育館工事契約大幅増額

6P **小田保行町長所信表明**

4人が一般質問

8P 危機管理、定住、高齢者対策を問う

8月10日は議会議員選挙の投票日です

町営住宅8404万円

体育館2073万円増額

Contents No109 Aug 2014

議案質疑

- 04 青年就農給付金を追加
- 04 特定秘密保護法の撤廃を求める意見書を賛成多数で可決
こんなことが決まったぜよ
- 05 林屋敷団地(仮称)、町民体育館工事の変更契約
- 06 町長所信表明・行政報告
- 一般質問
齋藤政広議員(危機管理、山間集落対策、長寿手帳)
- 08 市原静子議員(ボランティア、障害者・高齢者対策)
岡林 学議員(介護施設・定住・移住者対策)
片岡清則議員(債務、老後問題、TPPと農業)

12 私たちは、賛成・反対しました

13 追跡!地域福祉振興基金

議会ですこんにちは

14 デイサービスセンター「コスモス荘」

今号の表紙



7月11日、台風も去り夏本番が近づいた保育園では、園児たちがプールできもちよく泳いでいました。

商店街街路灯LED化補助金
商工会に692万円

[4面に関連記事]



LED化される商店街のすずらん灯

非常電源設備
役場屋上に新設2540万円



太陽光発電・蓄電池が設置される役場屋上

交付金事業
町道改良工事など2億4610万円



改良予定の町道今成深瀬線(栗ノ木)



栗ノ木に向けて改良される町道筏津線(筏津)

土木費3億971万円

町営住宅・町民体育館工事請負変更契約締結を賛成多数で可決[5面に関連記事]

また、町長の所信表明[6面に関連記事]、7月19日で任期満了になる農業委員に、片岡清則氏、片岡久一郎氏、大原利武氏、岡林富士男氏の4人を推薦、議員提案の常任委員会の定数改正、「特定秘密保護法の撤廃を求める意見書」など2意見書[4面に関連記事]を賛成多数で可決し、一般質問[8面から]は4人が危機管理、定住対策や高齢者対策などについて執行部をたどりました。

平成26年度一般会計補正予算3億6600万円

6月定例会は、13日から17日まで開き、条例の一部改正など4件、平成26年度一般会計補正予算および特別会計補正予算など4件を可決し、専決処分6件を承認しました。

平成26年度補正予算

会計名	補正額	総額	賛否
一般会計	3億6600万円	45億6933万円	賛成8、反対1
国民健康保険事業特別会計	50万円	8億5652万円	賛成9、反対0

東京・大阪で町PR

旅費増額の目的は

齋藤議員 旅費41万7千円を6月に補正する必要があったか。

町長も新しくなり、どういうところを想定してこの金額を組んだのか。片岡総務課長 当初では41万3千円。今回は東京4回、大阪2回の41万7千円になっている。マスコミにも売る

小田町長 県東京事務所と密に連絡をとりながら、関東圏での県人会、移住相談会、本省要望など、大阪でも県主催のものや町のPR関係でマスコミ等にもアプローチしたいと考えている。



今日も楽しかった保育園

多子世帯軽減で保育料ゼロ

何子から適用か

西川議員 多子世帯保育料軽減事業は、何子からどれくらい軽減されるか。

3人目以降3歳児未満高橋教育次長 18歳までで3人目以降、かつ3歳児未満の園児が対象。今回10人で、町・県が2分の1ずつ補助し、保護者負担は、ゼロになる。

野老山公民館にエアコン設置

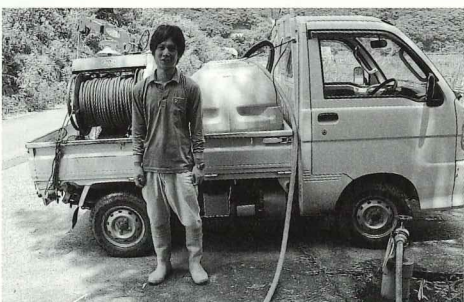
寺村議員 公民館費のエアコンの設置場所は、どこか。

高橋教育次長 野老山公民館で旧校舎の中の多目的室へ設置する。

集落整備に141万円

岡林(学)議員 補助金の内容は。

片岡総務課長 小日浦のテレビ共同受信施設、遊行寺集会所の塗装、浅尾集会所のエアコン設置、留保分40万円である。



若し皆さんを応援します

青年就農給付金300万円追加

岡林(学)議員 青年就農給付金(営農開始型)300万円の説明を。

岡員産業建設課長 当初予算では新規就農の4名分。現在1名の新規就農の予定があり、さらに数件の問い合わせがあり予備として2名分を計上する。

商店街街路灯をLEDに

123基、事業費1868万円

何基を交換か

岡林(学)議員 商店街の街路灯は、何基を交換するのか。

補正額692万4千円は全額か、商工会もお金を使うのか。

123基を交換する

中内企画課長 全部で123基。総事業費1868万円。商工会・広告主負担が59万4千円と商店街まちづくり事業補助金1116万円を差し引いた残りを町が補助する。
【3面に関連記事】

意見書

2件を可決・提出し、1件を委員会付託しました。

特定秘密保護法の撤廃を求める

提出者 齋藤政広議員
日本国憲法で保障された基本的人権を侵害し、国民主権・民主主義・平和主義を根底から破壊する法律の撤廃を求める。
《賛成・多数》

提出先 内閣総理大臣

提出者 片岡清則議員
《賛成・多数》

提出先 内閣総理大臣他

郷土の軍事化に反対する高知県連絡会から陳情のあった「集団的自衛権の行使を容認しないことを求める意見書決議」は、総務教育常任委員会に付託して閉会中の継続審査としました。

専決処分

平成25年度一般会計補正

地方交付税の確定により財源調整を行い、減債基金元金等へ5387万円を積み立て、予算総額を57億2130万円とする。
《承認・全員》

税条例等の一部改正

関係法令が改正され、町民税・法人税割の税率が100分の13から100分の10・4に、軽自動車・小型特殊自動車の税率を変更する。
《承認・多数》

国民健康保険税の軽減

後期高齢者支援金・介護納付金に係る課税限度額をそれぞれ2万円に引き上げと5割・2割軽減の措置拡大をする。
《承認・全員》

条例の一部改正

一般職の旅費

宿泊料につき現在の定額を上限として実費額とする。都市交通費の支給規定を変更する。
《賛成・全員》

中山間ふるさと、水と土対策事業基金

中山間地域の活性化を図るための経費の財源に充てる場合に限り、元金を含めた取り崩しができるようにする。
《賛成・全員》

給水指定手数料を徴収

今まで徴収していなかった給水装置工事事業者指定手数料を1件につき1万円を徴収する。
《賛成・全員》

議会常任委員会の定数

総務教育、産業建設各常任委員会の定数を6人から5人に改正する。
《賛成・全員》

工事の変更契約

林屋敷団地(仮称)建築工事

変更前 7億7630万4000円
変更後 8億6034万7440円
契約相手 (株)開洋 濱田幸一
エアコン設備、塗装、家具工事などの追加等に伴う増額。
《賛成・多数》

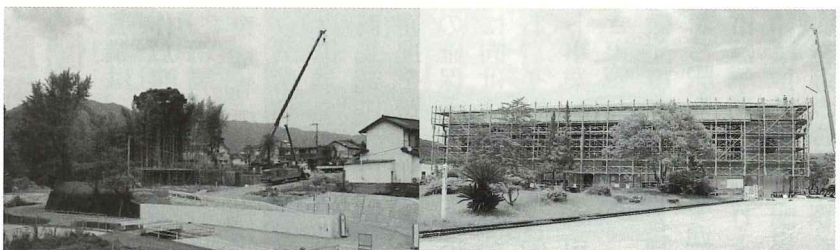
懇切丁寧な説明を

片岡(清)議員 8千万円という総工費の10%もの追加を出すことについて、町民にも懇切丁寧な説明をするべきでないか、今後どうするか。

広報で検討

中内企画課長 非常に大きい額であり、町民にもわかりやすい形で説明できる方法を考えたい。
片岡(清)議員 それをどういう方法でやるのか。町の広報なんかは今後検討を図るべきでないか。

小田町長 注目されている住宅です。まずは広報で検討させてもらいたい。



基礎工事が始まった林屋敷団地(仮称) 大規模改修工事が進む体育館

どのように改善を

齋藤議員 確認と打ち合わせができていなくて、その部分もこの追加に入っていると聞いたが、本来あってはならないことであり、今後どのように改善をしていくのか。

もっと詳しく見る

山中教育長 大変今回は迷惑をかけた。心からお詫び申し上げ、今回のことを一つの機会として、もっと詳しく見るようにしたい。

また、教育委員会の事務能力が上がるように職員研修もしていきたい。

町民に周知徹底を

片岡(清)議員 2億円くらいの工事で追加が2千万円。非常に厳しい批判にもなるのではないかと。林屋敷の問題と同様に町民に対し周知徹底をするべきでないか。

町民に説明する

高橋教育次長 林屋敷団地同様に、理解してもらうよう説明をしたい。
片岡(清)議員 この請負契約は前町長の時にやった金額を、今回変更して新たに追加する訳だが、このことについて説明を。

高橋教育次長 今回は、追加の工事が発生したもので、昨年9月に予算化しており、予算の追加をするものではない。

こんなことが決まったぜよ



所信表明をする小田保行新町長

元気な町 住みよい、住んでみたい町に

私の目指すところは、町民の皆様と向き合い、その代表である議員の皆様と共に「元気な町・住みよい、住んでみたい町」にしていくことである。

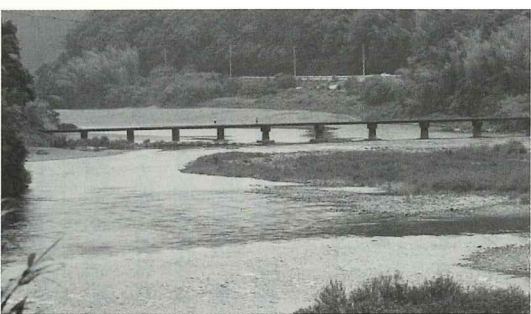
越知には仁淀川や横倉山などに代表される豊かな自然遺産をはじめ、先人が残された歴史・文化遺産や、安全で安心な救急体制の確立、教育力向上への取り組み、医療・介護の充実などのすばらしい人的資源、そして明るく前向きな町民性がある。

高齢化率は43%。過疎という難題はあるが、これら、越知町の強みを伸

ばし、この4年間を過疎に立ち向かうための礎を築く期間にしたい。

まずは、徹底的に越知町の魅力を発信するため、私がトップセールスマンとして、越知町を県内外にPRしていきながら、情報収集も行い、高知県との連携や中央へも要望活動を積極的に行っていく。

第5次越知町総合振興計画に基づき、健全な財政運営を図りつつ、5つの基本的な政策を掲げて取り組んでいく。



水質日本一の清流仁淀川

①産業を盛り上げ働く場づくり

農業は、後継者問題や耕作放棄地など課題が山積、新規就農支援や耕作放棄地等の利用再生事業、農産物加工事業などの支援をさらに進める。

商業は、関係団体との連携を密にし、雇用の場の確保や商店街の活性化に向けた取り組みを進める。イベントなどのソフト事業への支援も引き続き実施したい。

観光事業は、観光物産館おち駅も5年目を迎え、産市は年ごとに売り上げを伸ばしている。関係者のご努力のおかげであり感謝している。

体験型観光のカヌー・ラフティング事業も利用者が年を追うごとに増えており、今後、集客力を上げていくには、カヌー・ラフト基地の整備が必要である。

また、町内4団体から要望のある宿泊機能を充実の件は、既存の旅館の



年々増加する人気のカヌー

②安心安全なまちづくり

町道・集落道の道路整備や危険箇所点検整備。

公共交通のあり方を考えるため、地域公共交通会議設置を視野に取り組む。

また、高齢者の負担軽減を図れるよう通院や買い物支援として、地域ハイクーケット事業を今年度から開始する。



ヘリポート整備が望まれる横島西部地区(清水)

③保健・医療・福祉の充実したまちづくり

本年度は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の見直しの年となっている。できるだけ元気に老後を送ってもらうため関係機関と連携して、「健康づくり、生きがいづくり」を中心として高齢者対策を進めていく。あわせて、施設入所など高齢者対策も検討したい。全国的に少子化が進んでいる。産み・育てやすい環境整備は国・県・市町村単位で非常に大きなテーマであり、現状の子育て支援策の検証と共に新たな支援策も検討していく。



乳児健診の受診率は100%



人権の花運動・人を思いやれる人間に

④教育文化を大切に人づくり

「町の発展は人づくりから」、子どもから高齢者まで生涯学び続けることが重要。大きく変化できる人材の育成は大きな課題であり、町を挙げて取り組んでいく。

越知町教育振興基本計画が策定された。教育目標や、具体的な重点施策が設定されており、この計画に沿って越知の子どもたちを育てていきたい。何より「町ぐるみで子どもを育てる」風土にしていきたい。子どもたちには、人を思いやれる人間に育ってほしい。

⑤町民みんなが参加するまちづくり

町内全域でイベントの実施や伝統文化を守る活動が行われているが、徐々に高齢化が進んでいる現状にある。

「まちづくり」について女性の意見を聞きたい。保健福祉センターでの集まりやPTAや各団体の女性部会など座談会形式でお話が伺えればと考えている。



盆踊りの舞台となる片岡茶田堂の屋根新設

行政報告

市場との懇談

5月1日に、取引のある関西方面の市場や仲買業者と懇談する機会があり、今後本町農産物の取引をお願いしたい。

滝上町との交流

5月6日から8日に、北海道滝上町長屋町長が来町、児童交流を含め今後も友好交流町としてのお付き合いを確認した。



継続される滝上町との交流事業

県議会産業振興土木委員会

5月19日に、県議会産業振興土木委員会の調査があり、県道及び国道33号の早期整備促進を要望した。



活用が期待されるPR用DVD

県東京事務所と情報交換

5月22日に、県東京事務所へ向い情報交換とともに本町への支援をお願いした。東京事務所には5月3日テレビ放送の「おち家の人々」のDVDを渡し、機会あることに活用して、本町PRをお願いした。

他市町村との連携

3町の連携や仁淀川流域市町村との連携はこれまで以上に必要となる。

県と密接な連携

尾崎知事が4月1日の知事講話において、市町村政との連携協力を徹底すると述べられており、高知家の中の「おち家」として県と密接な連携を図る。

県産業振興推進部長と懇談

6月12日に、県の中澤産業振興推進部長が来られ、仁淀川の活用や今後の本町における産業振興に支援をいただける旨、お話をいただいた。あらためて、行動力がある町として事業を進めていく決意をした。

広域組合長に大石仁淀川町長

高吾北広域町村事務組合の組合長は吉岡組合長の退任に伴い、後任に大石仁淀川町長が組合長になり私と堀見佐川町長が副組合長になった。



齋藤政広 議員

危機管理体制

事業内容の確立はできたか

年内には方向性を決定／小田町長

問 危機管理体制の事業内容は確立できたか。事業の一例として、避難路の古いブロック塀など、町内の防災点検の実施をしてはどうか。また、防災意識の高揚のため、地震に備えてタンスなど家具の固定をする体制はできないか。

小田町長 危機管理室を設置し兼務を含め4人体制でスタートしたが、危機管理、防災行政、初動態勢など業務の取りまとめをしており、年内には方向性を決めたい。家具固定の助言実施する体制作りは、委託などの方法も考えられ、内部で検討したい。

片岡総務課長 避難路は県道、町道など300路線あり、ブロック塀、倒壊の危険のある民家や自動販売機などの位置を記録、把握するのが先決である。調査は自主防災組織と防災訓練を兼ねてい

集落が危ない

町職員の顔を知らない

地域に出向く方法を検討／町長

問 山間部では、10戸未満の集落が13集落あり、高齢化も進み集落の存続さえ危ぶまれる状況である。また、町職員の顔も知らないという声もよく聞く。

職員も地域に出向く回数も限られ、町内の状況をよく知らない職員が増えている。年に3回程度集落を回り、集落の悩みなどの相談を受ける集落担当者の配置はできないか。



土のうを積み目も真剣(6月22日消防団水防演習)

小田町長 地域を見守ることは大事なことで認識している。職員が地域を知らない、住民が職員を知らないという声はよく聞く。顔を覚えてもらうこと、地域を知ることが大切なことなので、機会を作り、地域に出向く方法を検討したい。見守りについては、シルバー人材センター、社会福祉協議会と協定している。

長寿手帳

問 交付の方法と周知はどのようにしているのか。また、この手帳を持っていると、どのような特典があるのか。

周知方法検討

西川住民課長

現在はカードになっており、65歳以上の希望者に渡している。周知は今まではあまりしていない。今後は町広報や会合等で知らせ、配布方法について検討したい。

特典は、県立施設等が無料や割引料金で利用できるほか、映画はシニア料金となる。



いろいろな特典のある長寿手帳

ボランティア活動支援

地域協働活動

保険の導入を

対象者を調査する／住民課長

問 安心してボランティア活動ができる環境をつくるため、町独自でボランティア活動保険へ加入はできないか。

西川住民課長 社会福祉協議会を取り扱っているボランティア活動保険と、町主催行事に適用する全国市町村総合賠償保障保険がある。

地域協働活動保障保険は自治体が一括して保険料を払い、ボランティア活動団体等は保険料や事前の登録は不要である。事故が発生した場合、地域活動中であることの証明ができれば、保障される。本町での対象者がどの位いるのか調査する。



保険があれば安心してボランティア活動ができる

問 障害のある方などが、緊急時に周囲の人に支援を求めるための携帯できる「ヘルプカード」を導入できないか。

西川住民課長 高知県では、まだ実施していない。個人情報記載することになり、一般の方に周知と理解をしてもらう必要がある。

聞き取りとして福祉事業所に通所している家族の方に聞いてみる。また、広域的な取り組みも必要と思う。導入は慎重に考える。

介護マーク

問 高齢者が増え、男性が女性を介護する場合、トイレ、下着売り場などで誤解を防ぐため「介護マーク」の導入の考えはないか。



検討される介護マーク

西川住民課長 現在、佐川町、日高村、土佐市で導入しているが、あまり知られていない状況にあり、厚生労働省は普及を図っている。お金をかけずに作り、介護される方や家族の方に普及できたらいいと思う。

その他の質問

問 役場前公衆トイレを和式から洋式に改修するのは、いつごろになるのか。

片岡総務課長 9月に予算計上し、洋式トイレに改修する。便座も寒いときは暖かく、除菌も必要かと思う。

高齢者、また膝が悪い方に喜んでもらえると思う。



市原静子 議員

ヘルプカード

緊急時に必要・導入を

導入は慎重に／住民課長



岡林学 議員

介護施設

待機者が多く入所できない

ショートステイ利用で対応／小田町長

問 本町の高齢化も急速に進み、施設介護が必要となる人が増えているが、民間施設は利用料が高く、年金生活者は入所できない。広域施設の正確な待機者数の把握が必要ではないか。

小田町長 民間施設へは高くて入所できないことは理解している。待機者数が多いのは、他の施設に重複をしているが、死亡しているが受付に名前が残っている人などがある。

広域も確認するとのことであるが、本町も正確な数を把握する。施設や定数を増やすことは難しいが、地域包括支援センターを窓口として、ショートステイを利用しながら、実情に合った対応をしていく。



子育て世代に人気の若者住宅

若者住宅

問 子育て世代が住める安い家賃の住宅をもっと増やし、定住に取り組みなければならぬが、今後の対策は。

小田町長 まずは、林屋敷団地（仮称）に入ってもらいたいと思っており、外向けにもPRしている。女川の若者住宅の良さもあるが、財政的事情もあり今はできない。将来的には考えなければならぬと思っている。

将来検討

移住者対策

空き家改修に補助を

9月補正に計上／企画課長

問 空き家調査の現状は。今後、賃貸しや売却の話も出てくると思うが、住める家にするため、補修が必要だが、補助の考えはないか。

小田町長 移住のため住める家にする補助は町も必要だと考えている。

その他の質問

問 町の弱点を補い強みを磨きあげるとは。

小田町長 弱点は、土地が少ない、空き家が多い、仕事場がない、商店街がさびれている、独身者が多い。強みは、仁淀川、横倉山、水道料が安い。ヘリポート数が県内2番目に多いなど。

中内企画課長 25年度から現在までに94件を調査した。5月に21件の所有者にアンケートを行い、5件の回答を得、空き家リストに登録した。賃貸料は無料でもよいが、補修の個人負担まではできない等の意見もあった。改修は、県から上限25万円の補助制度がある。町も27年の国勢調査での人口で交付税が決まるので、9月補正で改修の補助金を計上し、人口増へ積極的に取り組みたい。

婚活、空き店舗の活用、新規就農、地元企業の職員増への支援をする。

債務内容

財政は大丈夫か

起債残高は

今年度がピーク／小田町長

問 吉岡町長最後の時期に、町営住宅や給食共同調理場など大きい建物を次々と計画着手したが、平成10年に町債は、63億円くらいであったが、財政再建をして随分額を減らした。

今後は、新たに借金払いは始まり債務が増えると思うが、町の財政は大丈夫か、町の債務内容は。

小田町長 25年度末、地方債の現在高は、54億7603万円で、26年度末が64億4776万円となるが、大きな事業は終了する。起債現在高は、今年度がピークで来年度から減少し、平成30年度は60億円を下回る見込みである。

26年度末での主な起債残高見込額は、過疎債が27億4221万円、臨時財政対策債が15億8818万円、緊急防災・減債事業債が7億5208万円になる。

老後が心配

安くて入所できる高齢者施設を

多角的に考えていく／町長



出張ミニテに活用している旧野老山小

閉校施設などの活用を

問 老人ホームでは、月3万円から7万円、民間の施設なら10万円から13万円くらい要る。少ない年金生活では大変なので、閉校施設などを活用して、安くて入れる町独自の高齢者施設を考えてみてはどうか。

小田町長 施設を作ることにすれば、お金もいるし人件費もかかる。議会とも相談するが、広域組織での考えもあるし、その上で多角的に考えていきたい。

正確な待機者数を

問 広域の老人ホームの待機者が、400人を超えていると聞くと、重複したり、亡くなったりした人も含まれているように、横の連絡を取り正確な待機者数を示せ。

正しい数字を出す

小田町長 きちんとした数字がつかめていないのは問題だ。広域事務組合に正確な数字を出すようお願いしている。

本町は95人

西川住民課長 25年6月1日現在で、実待機者は4施設で340人、越知町は95人となっている。

TPPと本町農業

問 農業を取り巻く状況は非常に厳しい。TPPの進み具合と今後の本町への影響は。

木材自由化後の林業衰退と重なる

國員産業建設課長 協議は一進一退の状況で、アメリカでは農業団体や自動車団体から非常に強い圧力を受けており、日本に一方的に譲歩を迫っている。昭和35年の木材貿易自由化後の国内林業の衰退状況が日本農業の未来と重なる。

中山間地域の農業の今後は、それぐらいの危機感を持つべき状況にあることだけは認識しておかなければならないと思っている。



片岡清則 議員

あれはどうなっちゅうが？

**眠っている基金を
使う考えは**

(平成24年12月議会)
齋藤政広議員 地域福祉振興基金は利子を活用して事業をするものだが、現在は使われずに長時間眠ったままの状態だ。条例を改正して元金を使う考えはないか。

理解を得て使いたい

町長 条例を改正して使えるようにしたい。
基金は約1億9000万円、在宅福祉の向上など、住民の理解を得て、基本的に福祉関係に使うことを検討したい。

拠点施設への送迎も

住民課長 単に財源不足に充てることは考えていない。
車を購入し、交通手段のない地域から拠点施設への送迎も考えている。

処理状況

高齢者福祉に活用

平成25年3月議会で、条例改正。

平成25年度決算額

- 徘徊高齢者対策 1万円
- 脳年齢計購入 73万円
- コスモス荘バス購入 532万円

平成26年度予算額

- 徘徊高齢者対策 7万円
- 地域ハイヤーチケット 720万円
- コスモス荘送迎車購入 273万円
- 生活環境改善 50万円

平成26年5月31日現在
基金残高 1億8905万円



多くの方が利用するコスモス荘送迎バス



立木伐採で生活環境改善にも活用



脳年齢計で脳疾患の早期発見(あつたかふれあいセンター)

広域議会

諸般報告

衛生センター整備工事は、25年度には、し尿受け入れ槽の補修、防食塗装及び汚泥処理設備の脱水機の更新等を行い、全体工事費の12・9%を施工した。

26年度は、水槽、建築、機械、配管、電気計装の各設備工事を行い全体工事費の74・4%を施工する。

救急無線のデジタル化は、無線の使用許可があり、消防団の車両に装備する無線機やアンテナ取り付け位置の確認を終了。

10月末までに、本部指令室と山上基地局へのアンテナや機器設置を終わらせ、各車両への取り付けを行い、12月末までに全体工事を完了させる。

売買契約

●高吾北清掃センター指定ごみ袋
契約金額 886万2210円
契約の相手方
村上産業(株)高知支店 澤田 貢

定例会(6月3日)

採決「私たちは、賛成・反対しました。」

○：賛成 ●：反対

審議した議案等		市原 静子	高橋 丈一	齋藤 政広	岡林 学	片岡 久一郎	西川 晃	山橋 正男	片岡 清則	寺村 晃幸	岡林 幸政	可否	
陳情	特定秘密保護法の撤廃を求める意見書決議 (陳情者：郷土の軍事化に反対する高知県連絡会 高知県平和運動センター、高知県平和委員会)	●	○	○	○	●	●	○	○	○	●	採択	
	平成25年度一般会計補正予算(第6号) (減債基金元金積立など5387万円を追加、総額を57億2130万円とする)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
承認	平成25年度土地取得事業特別会計補正予算(第2号) (楠神の収用物件取り壊し工事が安価になり一般会計に繰出す)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
	税条例等の一部を改正する条例 (町民税・法人税割、軽自動車税及び小型特殊自動車の税率を変更する)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	承認	
	国民健康保険税条例の一部を改正する条例 (課税限度額の引き上げと軽減措置の拡大など)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
	平成26年度一般会計補正予算(第1号) (旧堂ノ岡小中学校校舎裏山留工事が緊急に必要なになった)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
	平成26年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) (前年度繰上充用金の予算が必要になった)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
	一般職の職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例 (宿泊料と都市交通費の規定変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	中山間ふるさと、水と土保全対策事業基金条例の一部を改正する条例 (果実運型から元金も含めて取り崩しができるようにする)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	越知町民会館条例の一部を改正する条例 (研修室を障害者相談支援事業所に貸与するため)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	給水条例の一部を改正する条例 (給水装置工事事業者指定手数料を1件につき1万円を徴収できるようにする)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成26年度一般会計補正予算(第2号) (3億6600万円を追加、総額を45億6933万円とする)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案	平成26年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) (電算システム改修費50万円を追加、総額を8億5652万円とする)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	工事請負変更契約の締結 (林屋敷団地(仮称)建築工事の契約金額を8404万円増額し、8億6034万円にする)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	工事請負変更契約の締結 (町民総合運動場体育館耐震補強及び大規模改修工事の契約金額を2073万円増額し、1億8995万円にする)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	農業委員会委員の推薦 (片岡清則氏を農業委員会委員に推薦)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除斥	可決
推薦	農業委員会委員の推薦 (片岡久一郎氏を農業委員会委員に推薦)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除斥	可決
	農業委員会委員の推薦 (大原利武氏を農業委員会委員に推薦)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	農業委員会委員の推薦 (岡林富士男氏を農業委員会委員に推薦)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員 発議	議会委員会条例の一部を改正する条例 (総務教育、産業建設各常任委員会の定数を6人から5人に改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	特定秘密保護法の撤廃を求める意見書 (提出先：内閣総理大臣)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	2015年NPT再検討会議に向けて 日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書 (提出先：内閣総理大臣・総務大臣・外務大臣)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長は、議員として議決に加わりませんが、表決において可否同数となったときは、裁決権を行使することになります。

注意：除斥とは、本人・配偶者または血縁者(二親等内の血族)が関係する議事には参与できない制度

議会です
こんにちわ

デイサービスセンター「コスモス荘」



ここに来るのが生きがい



今日は私の誕生日



まずはきたえん坊将軍



スタッフの岡林さん

7月8日に、一区にあるデイサービスセンター「コスモス荘」を取材しました。介護予防事業の一環として、町がJAに委託、年末年始や休日を除くほぼ毎日利用することができ、昼食おやつ付きで参加費は500円、年間延べ約4000人の方が利用しています。

この日は、日ノ浦・横島地区の方が中心で、92歳を最高齢に20の方が参加されていました。

始めに、ビデオを見ながら体操（きたえん坊将軍）を約30分します。何度か来ているうちに、体操を覚えたので、自宅のお風呂でもやるようになったとのこと。

その後、各自が自由に、カラオケやランプ、ペタンクなどのゲームを楽しみます。中でも、飛びゲームが一番人気のように、「夢中になるほどおもしろい」、「頭を使うのでボケ防止になる」、「教えてはいけない相手に、つい教えてしまう」といった楽しい感想もありました。

食材の持参もあるようで大助かり、野菜中心のメニューでとってもおいしいそうです。取材に来た私たちもお腹が「グー」と鳴りました。

毎日のように来ている方もいるようで、「ここに来るのが生きがい」、「議会だよりを楽しみに待っています」と私たちを笑顔で見送ってくれました。

6月定例会の傍聴者は延べ21人でした。
議員選挙後の初議会（臨時会）は8月20日の予定です。
多くの方の傍聴をお待ちしています。



楽しみはやっばりお昼ごはん



一番人気の飛びゲーム

編集後記

まもなく4年間の任期が終わり、今月には、議会議員の選挙がある。町の状況や問題を「議会だより」で伝えてきたが、現在の編集委員では今回が最後となる。

町も多くの課題がある。特に、人口減少を止めるための定住・移住策や高齢化・少子化の問題は、すぐには解決できない。もっと具体的に計画を立て、財政も投入しなければならぬ。

議会も新体制となるが、常に住民の代表として、行政と共に全力で取り組んでいきたい。

これからも議会活動についてより多くの町民の皆さんにお伝えし、親しんでいただける紙面作りを心がけていきたいと思っております。

ご愛読いただきましたありがとうございます。ありがとうございました。

《岡林》

- 編集・発行責任者
議長 岡林 幸政
議会広報常任委員会
委員長 岡林 学
副委員長 斎藤 政広
委員 西川 晃
委員 高橋 丈一
委員 市原 静子
- ※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。